

地域の会前回定例会以降の動き

令和7年1月8日

新潟県防災局原子力安全対策課

1 安全協定に基づく状況確認

12月8日、柏崎市、刈羽村とともに、発電所の月例の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- 5号機原子炉建屋内の緊急時対策所に設置している衛星電話設備5台(常設)のうち、1台が使用不能となり運転上の制限を逸脱した事象について、原因の調査状況や通信連絡設備の全体構成等の説明を受けるとともに、現場確認を行いました。
- 女川原発2号機の原子炉起動工程において発生した、移動式炉心内計装系(TIP)が動作不能になった事象を受け、柏崎刈羽原発の同設備及び原子炉核計装系の概要について説明を受けるとともに、現場確認を行いました。

2 新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会

12月26日、令和6年度第5回技術委員会を開催し、前回に引き続き、柏崎刈羽原発6号機の設計及び工事計画について、東京電力から説明を受け質疑を行いました。また、これまで行ってきた柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の確認の報告書案について議論を行い、報告書が概ねとりまとめられました。

※ 委員会資料は次のホームページに掲載しています。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/genshiryoku/gijyututop.html>

令和6年度新潟県原子力防災訓練（学校等における児童の保護者への引渡し訓練）

1 訓練日程及び参加学校等

- 9月6日(金) 刈羽小学校(PAZ)
- 10月22日(火) 北鯖石保育園(UPZ)
- 10月24日(木) 私立にしやま保育園(PAZ)、鯖石小学校(UPZ)
- 10月26日(土) 二田小学校(PAZ)、内郷小学校(UPZ)
- 11月1日(金) 瑞穂中学校(PAZ)
- 11月14日(木) 田尻小学校(UPZ)

2 訓練参加者(教職員137名、児童1,014名)

柏崎市、刈羽村、県、バス事業者

3 訓練目的及び実施内容

柏崎刈羽原子力発電所の緊急時における学校及び保育所の児童の避難を円滑に実施するため、保護者への引渡し、関係機関による避難バスの確保・乗車等の訓練を実施しました。



児童の移動の様子



ランチルームでの児童の引渡し



体育館での児童の引渡し



教職員同乗でのバス避難

【参考】職員・保護者アンケート結果(暫定版)

① 良かった点

- ・**実際に訓練に参加**することで、**多くの「気付き」**があり、災害時の手順確認ができ、**原発事故を想定した対応への意識が高まった**
- ・初めて訓練に参加したが、**定期的に行った方がよい**と思った
- ・子供達は迎えが来るまで静かに待機してくれていた

② 改善すべき点・不安に感じる点

- ・**停電して校内放送が使えない場合も想定**した方がよい
- ・訓練と実際の動きは違うため、職員間で動きの違いについての認識の共有をしていきたい
- ・仕事中で迎えの通知確認ができなかった
- ・**待機時の過ごし方、安心感を与える方法(BGM等)を検討**する
- ・連絡用のテンプレートを事前に作成しておくほうがよいと思った